

大雨、落雷、突風に対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

令和8年7月10日6時2分、「福島県気象解説情報（大雨・落雷・突風）第2号（福島地方气象台）」が発表されました。今後の気象情報に注意するとともに、農作物の管理には十分注意してください。

福島県では、10日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけてと11日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけて、大雨による土砂災害、低い土地の浸水や河川の増水に十分注意してください。また、竜巻などの激しい突風や落雷、降ひょうに注意してください。

【気象状況】

東北地方には高気圧の縁をまわる暖かく湿った空気が流れ込むでしょう。また、11日にかけて、上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、日中の気温上昇の影響も加わるため、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。

【予想と防災事項】

<雨の予想>

福島県では、積乱雲が発達し、雷を伴って激しい雨が降り、大雨となる所があるでしょう。雨雲が予想以上に発達した場合には、警報級の大雨となる可能性があります。

10日に予想される1時間降水量は多い所で、

中通り 30ミリ

浜通り 30ミリ

会津 30ミリ

11日に予想される1時間降水量は多い所で、

中通り 40ミリ

浜通り 40ミリ

会津 40ミリ

10日6時から11日6時までに予想される24時間降水量は多い所で、

中通り 60ミリ

浜通り 60ミリ

会津 60ミリ

その後、11日6時から12日6時までに予想される24時間降水量は多い所で、

中通り 80ミリ

浜通り 80ミリ

会津 80ミリ

<防災事項>

福島県では、10日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけてと11日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけて、大雨による土砂災害、低い土地の浸水や河川の増水に十分注意してください。

また、10日昼前から夜のはじめ頃にかけてと11日昼前から夜遅くにかけて、竜巻などの激しい突風や落雷、降ひょうによる農作物や農業施設等への被害に注意してください。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。

【補足事項】

今後発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。

次の「福島県気象解説情報（大雨・落雷・突風）」は、10日16時30分頃に発表する予定です。

【共通】

- 1 突風や降ひょうに備えて、パイプハウス等の点検やビニールの補修を行いましょ。また、露地栽培では、事前に収穫可能な農作物の収穫に努めましょ。

【水 稲】

1 事前対策

- (1) 増水に備え、用排水路を点検し、ゴミ等を取り除いておきましょ。
- (2) 大雨により水路が増水している場合は、危険ですので近づかないでください。

2 事後対策

稲が水没している場合は、葉先が出るように排水しましょ。

【大豆・麦類・夏そば】

1 事前対策

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょ。

2 事後対策

地表面に滞水が見られる場合は、溝切りなどの排水対策を行いましょ。

【野菜・花き】

1 事前対策

(1) 共通

ア 水が停滞しやすいほ場ではあらかじめ明きよ等の排水溝を整備しましょ。ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきましょ。水害のおそれがある地帯では強制排水のポンプも準備しておきましょ。

イ ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修しましょ。

ウ パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょ。

エ パイプハウスやネット栽培等で支柱を使用しているものは筋交いを入れ、補強しましょ。

オ 施設では、天窓や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきましょ。

カ 雨よけのみのパイプハウス等は強風に弱いため、らせん杭、ハウスバンド等で浮き上がらないようにしっかりと固定しましょ。

キ 収穫可能なものは、大雨、落雷、突風の接近前にできるだけ収穫しましょ。

ク は種や定植作業は、天候回復後に実施しましょ。

(2) 野菜

ア 露地の葉菜類や根菜類では、べたがけ資材（不織布等）を支柱を用いて浮き掛けすることにより被害を軽減することができます。その際は、べたがけ資材が風に飛ばされないようしっかりと止めましょ。

イ 露地きゅうりやさやいんげんは、支柱やネットにしっかりと誘引しておきましょ。なすやピーマン、アスパラガスは、支柱やフラワーネットを点検し、倒伏を防止しましょ。

- (3) 花 き
露地栽培では、フラワーネットや支柱を点検し、倒伏や曲りを防止しましょう。

2 事後対策

(1) 共 通

- ア 停滞水は、明きょなどで速やかな排水に努めましょう。
イ 冠水した場合は、ほ場への出入りによって土壌の物理性が悪化しないよう配慮しましょう。ぬかるむ場合は、出入りを極力避けましょう。
ウ ネギやリンドウなど倒伏したものは、茎が曲がるのを防ぐため、できるだけ早く引き起こすとともに、茎葉に泥土が付着している場合は、動力噴霧機などにより水をかけて洗い流し、適切な薬剤散布を行いましょ。

(2) 野 菜

- ア 排水後、ほ場作業が可能になったら直ちに畦間の中耕を行い、土壌の通気性を良くし根の動きを回復させましょう。
イ マルチを行っている畦が冠水した場合、マルチ下の土壌水分が過多となりやすいので、マルチを一時的に剥がして乾燥させましょう。
ウ 果菜類は、損傷を受けた果実は早急に摘果しましょう。ネット等からはずれたつるや茎葉等は、再度誘引しましょう。茎葉の損傷が激しい場合は、新葉（枝・つる）の発生を確認してから摘除しましょう。
エ 冠水や多湿、茎葉の損傷等により病害にかかりやすくなっていますので、直ちに適切な薬剤散布を行いましょ。また、草勢回復のため、液肥や酸素供給剤のかん注、葉面散布剤の散布を行いましょ。
オ 収穫した野菜は傷みがないか確認しながら調製作業を行い、被害を受けた農作物は出荷しないようにしましょ。

(3) 花 き

- ア キクやリンドウ、シンテッポウユリ等の露地栽培では、風雨により損傷を受けると病害が発生しやすいので、速やかに適切な薬剤散布を行い、草勢回復のために液肥の葉面散布を行いましょ。
イ ほ場が冠水した場合は、速やかに排水を行うとともに、付着した泥を洗い流し、灰色かび病等の予防のため薬剤散布を行いましょ。また、液肥の葉面散布や酸素供給剤のかん注により、草勢回復を図りましょ。

【果 樹】

1 事前対策

- (1) 水が停滞しやすい園ではあらかじめ明きょ等の排水溝や暗きょを整備しましょ。
(2) りんごのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認しましょ。
(3) 立木では主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期してください。
(4) 果樹棚等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょ。
(5) モモせん孔細菌病やナシ黒星病などの病害は、降雨により病原菌の分散が助長されるので、効果のある薬剤を降雨前に散布しましょ。
(6) 多目的防災網を設置している園地では、早急に網を広げましょ。

2 事後対策

長時間に渡る浸水や滞水は根や葉の呼吸を阻害し、生育不良や枯死を招くので速やかに対策を実施してください。

- (1) 滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょう。
- (2) 土砂が流入した園では、根の呼吸を助けるため、なるべく早く樹冠下の土砂を取り除きましょう。
- (3) 枝葉や果実などに泥が付着した場合はできるだけ早く洗い落とし、病害の発生を防ぐため適切に薬剤散布を実施しましょう。なお、定期散布が近い場合は、この散布に置き換えて実施してください。
- (4) 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。
- (5) 大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻しましょう。さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めます。
- (6) 果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

【畜産・飼料作物】

1 事前対策

- (1) 風雨の吹き込みを未然に防止するため、畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎及び排水溝等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等を行いましょ。う。
- (2) 開放された飼料の保管場所では、飼料をシートで覆うなどして、雨水がかからないようにしましょ。う。
- (3) 堆肥舎は、風雨の吹き込みにより、堆肥や汚水が流出することが心配されますので、堆肥をシートで覆うなどして、流出を防止しましょ。う。
- (4) 停電や断水時等の対応をあらかじめ確認し、被災時には、自家発電機等による搾乳や生乳冷却等の対応ができるよう準備しておきましょ。う。
- (5) 水はけの悪い草地や飼料畑には、明きょを掘削するなど、速やかに排水できるようにしましょ。う。

2 事後対策

- (1) 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょ。う。
- (2) 滞水している草地や飼料畑は、明きょなどを点検し、速やかに排水しましょ。う。
- (3) 豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょ。う。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 0 2 4 (5 2 1) 7 3 4 4

○農業振興課ホームページ

以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>